

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立立花小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・全項目とも意識的に取り組み、B以上を得た。保護者アンケートでも、昨年度に続き、学校教育活動全般に肯定的な評価と、一定の理解をいただいた。更に保護者・地域との連携・協働を図り、「地域とともにある学校」につなげていく。 ・県学習状況調査等の結果を更に詳細に分析し、学力向上については具体的な手立てを模索する必要がある。さらに、全職員の共通理解の基、共通実践、継続した取り組みを行っていく必要がある。 ・コロナ禍で見直した行事の精選を契機として、学校の教育活動や教職員の業務全体を成果と課題を踏まえて、更に見直し・充実させていく必要がある。
------------------	--

2 学校教育目標	たくましく心豊かな立花の子 ～元気と笑顔あふれるカラフルな学校～
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	① 生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな身体の調和のとれた児童の育成に努める。 ② 感謝の気持ちを大切にし、楽しく学び合い、高め合う校風を醸成し、特色ある学校を目指す。 ③ 各主任・部長等を核としてチームとしての機能を高め、協働意識を高く持ち、報告・連絡・相談を密につながら全職員一致協力のもと課題に対処する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「授業中、めあてを持って学習し、学習した内容を振り返ることができている」と回答した児童80%以上 ○「自分の考えを分かりやすく書くこと・正しく伝えること」「友達のことをしっかりと聞くこと」が「できた」と答える児童の割合を80%以上に ○教師アンケートで「主体的、対話的で深い学びの実現に向けて授業に取り組むことが「できた」と答える教員の割合を100%にする。	・教職員間で学力向上対策評価シートを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・児童の学ぶ意欲に基づく『立花型授業』の定着を進め、学びの習慣の確立を目指す。 ・児童が学び合う場を設定し、自分の考えを的確に表現したり、友達のことを聞いたりして、理解を深めることのできる児童を増やす。		・		・		・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自分を大切に、向上心と思いやりの気持ちをもって行動できる児童80%以上 ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・「友達のいいところさがし」を実施する。 ・伊万里市「心の教育3セット」の活用を図る。 ・ふれあい道徳や道徳に関するアンケートを実施する。		・		・		・	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義理解、いじめ防止のための取組、事案対処等）について組織的対応ができていると回答する教員90%以上	・毎月末の「月のこころ」記入、年2回のアンケート実施で情報を得やすくする。 ・いじめ対応についての研修・会議を学期に1回以上行う。		・		・		・	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・全ての教科や学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設け、実現を目指す意欲的に取り組もうとする態度を育むキャリア教育を推進する。 ・コミュニティスクールを活用し、学校と地域が一体となった体験活動などにより、地域への理解と郷土への誇り・愛着を育む。		・		・		・	
	○特別の教科道徳の授業実践と研究成果のまとめ	○道徳科の教材研究、授業実践に意欲的に取り組んだ教員90%	・道徳科について、指導と評価の在り方について全職員で研修を深める。 ・ふれあい道徳や道徳に関するアンケートを実施する。		・		・		・	
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童の交通事故を0（ゼロ）にする。	・交通安全等の学校行事や全ての教育活動を通して、児童の危機予測や危機回避の意識を高める。 ・子ども見守り隊、地区交通対策協議会との連携を密にする。		・		・		・	
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・食育だよりの発行をする。		・		・		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の確実な実施をする。 ・在校等時間の正確な記録と把握をする。 ・校時程を有効活用し、学級事務・成績処理の時間の確保に努める。		・		・		・	
	○学校行事や校務分掌の見直し	○学校行事や校務を見直し、働き方に対する改善が図れたと考える教員80%以上	・各分掌間の連携及び情報共有を図る。 ・校務分掌に添った各部会の業務内容、役割分担を見直し、再編成を図るとともに、適宜、組織の点検、改善を行う。		・		・		・	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○個に応じた特別支援教育の推進	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有 ・個別の支援計画にもとづく支援体制を構築し、校内の連携を図る。		・		・		・	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------